

-----1月10日-----

今週のアウトルック(1/10~1/14)

先週は、米国雇用関係の統計に振り回された一週間でした。ADP雇用統計が思わぬサプライズで、一度大きくドル高に振れました。金曜日の米国雇用統計では、NFPが+10.3万人、失業率が+9.4%という非常に解釈の難しい結果となり、乱高下ののち、ドルは結果的には少し売り込まれる事となりました。今週は雇用統計の結果を受けた要人などの発言に、影響されることとなるかもしれません。

ドル円はどちらへも大きく動きにくい状況になることが予想されます。結果的には、急激な雇用回復期待に対する反動の力の方が少し強いように思います。

ドル円の予想レンジは82円から83.5円です。

ユーロは、ユーロドルが1.3を割り、米国雇用統計が難しい解釈を迫られる状況になっても、それほど反動でユーロに対しドルが売られる状況が強くなかったことから、ユーロドルが一度1.28あたりまでを目指すのではないかと考えられます。それに伴いユーロ円も105円あたりを目指してもおかしくない状況にあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは105円から108円です。

ポンド円は、130円の壁を超えてくると状況は変わりそうですが、今の状況ではその可能性は少し低いように思います。今週はどちらへも動きづらい状況になるのではないかと考えています。

ポンド円の予想レンジは127円から130円です。

今週は大きく動かすキッカケになる要素が少ないように思います。ただ逆に、サプライズ的な要人発言が出た場合には、大きく動かされてしまう可能性もあるので、注意が必要です。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。